

企業見学シャトル便レポート

訪問日：2022/8/19(金)

参加者：農学部 5 名

編集：地域連携コーディネーター

【見学先企業】

① (一財)日本きのこセンター 菌茸研究所 (学術研究 専門・技術サービス業)
きのこに興味がある農学部 1 年生 5 名と、彼らにとって初めての企業見学として訪問してきました。

日本きのこセンター 菌茸研究所

【設立】 昭和 34 年 4 月

【住所】 鳥取県鳥取市古郡家 211

【代表】 長谷部 公三郎

【企業紹介】

日本きのこセンターは、日本産原木シイタケを応援します。

「シイタケ等きのこ・菌類」を通して我が国の森林・山村の健全な発展、国民の健康増進、そして学術文化の向上に寄与することを基本理念として活動しております。菌茸研究所は、(一財)日本きのこセンターの中核的機関であり、昭和 34 年の開設以来、我が国の国土面積の 67% を占める森林と中山間地域農林業の発展に貢献することを使命として、きのこに関する総合的研究を展開しています

日本きのこセンター 菌茸研究所



研究所内の見学(液体窒素で菌株を保存)



品種だけでなく成分条件を変えて培養し最適な菌床を見つける



菌床シイタケの栽培室で最適な菌床や品種条件を見つける



キクラゲ新品種の栽培室にて(シイタケとは栽培条件が異なる)



手間のかからないホダ木への植菌方法なども研究



生シイタケと乾燥シイタケでは、品種も収穫時期も異なる

学生からのアンケート結果 回答：5名

(1) 見学して印象に残ったこと、学んだこと

- ・菌床栽培の現場、原木栽培の現場、キクラゲが毛細管現象で傘からも水を吸収できること。
- ・椎茸の原木が細かった。
- ・原木しいたけの栽培スパンの長さに驚きました。あと、変な形のシイタケがあったのが面白かったです。
- ・きのこ栽培やきのこの品種改良などについて学んだ。
- ・菌床での栽培と、原木での栽培の違いについて理解できた。細かい違いまで説明して頂き、知識が増えた。シイタケを原木で栽培する利点も詳しく学べた。

(2) 企業の良かった点、気になった点

- ・職員さんが優しく教えて下さったところ。きのこについて学べるところ。
- ・自然の利用。
- ・研究者の姿を目の当たりにして、どんなことをどのようにして研究していらっしゃるのか間近に見ることが出来たので、とても興味深かったです。
- ・きのこ栽培について、知らない点が多く、気になっていた部分をよく知ることができた。また質疑応答では、素人的な質問にも快く答えてくださり、ありがたかった。
- ・丁寧な説明で、とても分かりやすかった。質問もたくさん答えてもらい、より理解が深まった。

(3) 企業への要望や提案

- ・また冬にも来たいと感じました。

以上